

# 世界を知って、自分を知ろう！

氏名： 沖 彩葉

学校名： 徳島市城西中学校

担当教科： 理科

実践教科： 総合的な学習の時間

時間数： 3時間

対象学年： 2 学年

人数： 210人

## 【実施概要】

【1】単元のテーマ・目標（評価の観点を意識して設定）		
単元テーマ 「世界を知って、自分を知ろう！」 単元目標 パラグアイの世界やそこで働く人々に触れ、日本や自分の住んでいる地域、自分自身についての考えを深めることができる。		
【2】 単元の評価 規準例	(ア) 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラグアイの文化に興味をもって、調べようとする。</li> <li>・自分と向き合い、今後の将来について考えようとする。</li> </ul>
	(イ) 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラグアイの文化を知って、自分自身を振り返ることができる</li> <li>・発展途上国の海外在留邦人の職業について、考えることができる</li> </ul>
	(ウ) 技能	
	(エ) 知識・理解	パラグアイの地理や文化を理解できる。 青年海外協力隊について理解できる。
【3】 単元設定の理由	第2学年の総合的な学習の時間では、平和学習とキャリア教育を柱に取り組んでいる。本校の教育方針に、国際理解教育を通して、生徒に幅広い視野を身に付けさせることを掲げている。今回、パラグアイでの活動を、総合的な学習の時間に実施する平和学習とキャリア教育に関連させながら、生徒が「世界を知って、自分を知る」ことができるような教材の工夫を行った。	
✓ 児童/生徒観 ✓ 教材観 ✓ 指導観	生徒の中には閉鎖的で、海外にあまり興味がなく、遠い世界だと感じている者がいる。また、他を受け入れる力に欠けている。そのため、様々な世界や価値観を知ることは、生徒にとって、日本との共通点の発見だけでなく、生徒の価値観の変容をもたらす大きなきっかけになると考える。本単元では、世界を知って、自分と向き合い、今後の将来について考えることができるような態度を育成したい。	

【4】展開計画（全 3時間）			
本時：2時間続き			
時	テーマ・ねらい	活動・内容 (⇒ 内容の詳細, ⇒ 発問)	使用教材
1	<p>テーマ 「世界を知ろう」</p> <p>ねらい パラグアイの世界を知って、自分自身の生活を振り返る。</p> <p>※全クラス対象・講義形式</p>	<p>①第二次世界大戦前後の移住政策と開拓の歴史について知る。 ⇒パラグアイの地に多くの日本人が移住し、現在も日本の文化を大切にしながら生活をしている。 ⇒日本のどのような文化を大切に継承しているのか。 ⇒日本の文化を大切に守りながら、パラグアイの文化をどのように受け入れ生活しているのか。</p> <p>②パラグアイについて (文化・食生活・民芸品・街並み)</p> <p>③パラグアイのごみ山で生活する人々 ⇒郊外に出ると、貧しい生活をしている人々がいる現状を伝える。 ⇒街並みの写真を見た感想を聞く。 ⇒マイナスのイメージを持ってしまいが、希望を捨てずに頑張っている子どもたちを紹介する。(カテウラ音楽団)</p>	<p>添付資料参照</p> <p>移住学習で行われた体験談のビデオ (ラ・パス日本語学校)</p> <p>マテ茶 パラグアイの通貨 ニヤンドウティー</p> <p>カテウラ音楽団の写真や実際の演奏ビデオ</p>
2 本時	<p>テーマ 「わたしの夢①」</p> <p>ねらい パラグアイの子どもたちの夢や海外で働く人の姿を知って、自分の将来を考える。</p> <p>※全クラス対象・講義形式</p>	<p>①職場体験学習を終えた感想 ⇒職場体験学習について振り返り、たくさんの職業があることに気付かせる。</p> <p>②中学生に人気のある職業ランキング ⇒職場体験学習で行った職業もあることに触れながら、それらの職業を通して、多くの外国人と接する場面があることに気付かせ、ヒトの動きが世界から日本だけでなく、日本から世界に向いていることを知る。</p> <p>③在外邦人の職業 ⇒先進国ばかりでなく途上国に進出していることに気付かせ、それは企業によるものだけでなく、政府関係の職業もあり、その中に国際協力機構（JICA）があることを伝える。</p> <p>④青年海外協力隊について ⇒パラグアイで活動する隊員のインタビュー動画を見る。(青年海外協力隊を志望した理由・活動をして大変だったこと・活動をしていて身についた力) ⇒国際協力推進員の上西さんの体験談も聞き、様々な思いを知る。</p>	<p>添付資料参照</p>

		<p>④上記の隊員が活動する子どもたちの夢          ➡パラグアイの子どもたちの夢についてのインタビュー動画を見る。</p> <p>⑤先生の夢          ➡授業者にも夢があることを伝え、生徒の夢や目標が何なのかをしっかりと考え、3年生につなげていけるようにする。</p>	
3 本時	<p>テーマ 「わたしの夢②」</p> <p>ねらい 前時の話を聞いて、自分の将来について、友達からの意見をもらいながら考える。</p>	<p>①前時の振り返り</p> <p>②自分の夢や目標をワークシートに記入する。</p> <p>③グループを作り、自分の夢や目標を発表し、友達からコメントをもらう。</p> <p>④友達からのコメントをもとに10年後の自分を描く。</p>	【資料1】

【5】本時（3時間目）の展開

過程時間	学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (5分)	<p>①前時の振り返りをする。</p> <p>②本時の目標を確認する。</p>	<p>・モノやヒトは日本だけで動いているのではなく、世界規模で動いている事を振り返らせる。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     自分の人生について、夢を持つことの大切さやその夢を実現するためにはどうしていかなければならないか、友達の見解を聞いて考える。                 </div>			
展開 (40分)	<p>③ワークシートの以下の内容について考える。</p> <p>（1）将来の夢は？（やってみたい仕事・やってみたい活動など）</p> <p>（2）その仕事や活動、趣味を通して、自分がどんな夢を実現していきたいか。</p>	<p>・ワークシートへの記入例として、授業者の夢をあげて説明する。</p> <p>・生徒の中には夢や目標を掲げることが苦手とする生徒がいるため、夢がない生徒に対しては、今後取り組んでいきたい活動等での良いことを伝える。</p> <p>・その夢を実現している自分を具体化させる。</p>	

<p>まとめ (5分)</p> <p>④本時のまとをする。</p>	<p>(3) 今がんばっていることやがんばろうと思うことは何か？ (将来に向けて)</p> <p>(4) グループの人からのメッセージ</p> <p>(5) 10年後の私について思い描いてみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢を思い描くだけでなくそのプロセスなどを考えさせる。</li> <li>・アドバイスや応援メッセージを送るように指示する。</li> <li>・10年後の自分がどんな姿でありたいか、友達からのメッセージをもとに考えさせる。</li> <li>・急激に変化する社会の中で、自分の思い描く将来を達成するために、視野を広く持って様々なことに取り組んでいくように伝える。</li> </ul>	
---------------------------------------	--	--	--

【授業実践の様子】

講演の様子①



講演の様子②



【6】本時の振り返り

職場体験学習を通して生徒は、働くことの意義だけでなく、将来に向けて頑張らなければならないことを一人一人が感じている。しかし、自分の将来についてじっくりと考える時間はなく、将来のことを問うと、「分からない。」と答える生徒が多い。本時の授業では、これから自分たちの将来を考えていく際、世界規模でモノやヒトが動いているということに気付くことで、広い視野を持って自分の将来を考えるきっかけ作りになったと考えている。また、自分の夢に対して友達からの意見をもらうことで、やる気を得た生徒もいる。互いに認め合い、励まし合うことで、3年生の進路選択へつなぐ良い時間となった。

たと感じている。

**【7】 単元を通した児童生徒の反応/変化**

ほとんどの生徒がパラグアイについて知らないと答えたため、パラグアイの文化の紹介では挨拶の仕方や食卓に並ぶ料理、紙幣など日本とは違う文化に驚いたと答える生徒が多い。物珍しいものに興味を示す生徒ももちろんいるが、「日本人でよかった」というような感想を持つ生徒もいる。海外を知ること、日本や自分の生活について考えることができた。

**【単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲があれば記載下さい】**

授業実施後の子どもたちの感想文には、「高校生になったら留学したいと思うようになった。」「夢はまだないけれども、何かに挑戦すること大事さを知った。」というような、将来に対して前向きな生徒の意見が見られた。

**【途上国・異文化への意識の変容について記載下さい】**

(授業前)

①「途上国＝貧しい国」と考える生徒が多く、その国に住む人たちは「かわいそう。」や「この国に生まれなくてよかった。」と答える生徒がいた。

(授業後)

①パラグアイの子どもたちが、ゴミからできた楽器を使って演奏している姿に驚いた生徒が多く、感想文の中に「ゴミからできた楽器で楽しそうに演奏している姿に、貧しさを感じなかった。むしろ、生き生きしている子どもたちに驚いた。」というような感想があった。

**【8】 自己評価**

<p>1. 苦勞した点</p>	<p>全クラス（210人）を対象に授業を行うとなると、講義形式になり、生徒の活動を取り入れることが難しかった。また、計画されていたカリキュラムの中に国際理解教育を取り入れるとなると時間数の確保など調整が難しく、一貫性を持った授業を実施できなかった。</p>
-----------------	--

<p>2. 改善点</p>	<p>今回、総合的な学習の時間の枠を利用し本授業を実施したが、国際理解教育は色々な教育とつながりやすく、普段の教科授業などでも取り入れやすいものだと実感した。そのため、授業の中でパラグアイなどの経験を小出しにしながら日本と世界などの関わりについて生徒に伝えていくことができるのではないかと考える。</p>
<p>3. 成果が出た点</p>	<p>本授業を通して、生徒だけでなく学年の先生方にもパラグアイについて知ってもらえるよい機会となった。先生方の多くは、国際理解教育と聞くと、海外に行った人にしかできないと考えていたが、国際理解教育は様々な教育に関連しているということを知ってもらうことができた。</p>
<p>4. 備考（授業者による自由記述）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3時間の授業実践の内2時間は前学級（210人）を対象に講義形式で行ったが、3時間目は1学級（31人）を対象にグループ活動を取り入れながら授業を行った。</li> <li>・授業だけでなく校舎の掲示板上にパラグアイのコーナーを設け、授業以外での発信も行った（添付資料参照）。</li> </ul>

添付資料：

第1限目「世界を知ろう」 パワーポイント



## パラグアイ基本情報

- 面積: 40万6752平方キロメートル(日本の約1.1倍)
- 人口: 約685万人(2016年)
- 首都: アスンシオン
- 言語: スペイン語・ガラニー語
- 通貨: ガラニー



## カテウラ地区

～ゴミであふれてしまっている街～




※ パラグアイの文化紹介では、ニャンドゥーティーや紙幣など実物を見せて説明を行った。

### 第2限目 「わたしの夢①」 パワーポイント

## わたしの夢

### 人気の職業ランキング (男子)

順位	男子	順位	男子
1	野球選手	11	研究者
2	サッカー選手	12	調理師
3	学校の先生	13	プログラマー・システムエンジニア
4	医師	14	サラリーマン
5	公務員	15	警察官
6	技術者・エンジニア・整備士	16	消防士(レスキュー・救命救急士)
7	車の整備士・カーデザイナー	17	鉄道運転士
8	ゲームクリエイター・ゲームプログラマー	18	大工
9	芸人(歌手・お笑い・声優など)	19	バスケット選手
10	法律家(弁護士・裁判官・検察官)	20	建築家

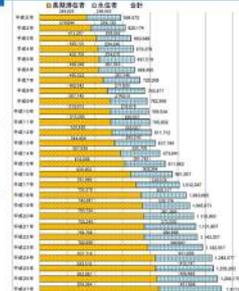
### 人気の職業ランキング (女子)

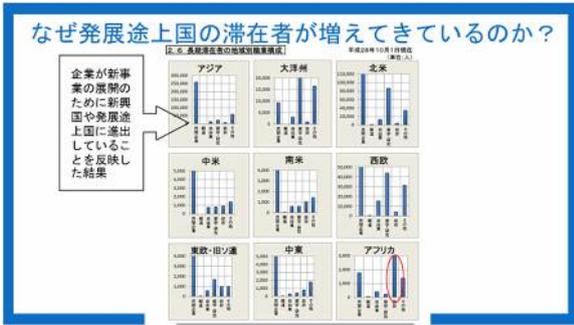
順位	女子	順位	女子
1	保育士・幼稚園の先生	11	獣医師
2	看護師	12	介護福祉士
3	漫画家・イラストレーター	13	調理師
4	芸能人(歌手・お笑い・声優など)	14	トリマー
5	美容師・理容師	15	警察官
6	学校の先生	16	作家・小説家
7	動物の訓練士・飼育員	17	薬剤師
8	パティシエ	18	キャビンアテンダント
9	ファッションデザイナー	19	美術家(画家・カメラマン)
10	通訳	20	ネイル・メイクアップアーティスト

### 海外に住む日本人の割合

・グローバル化に合わせて、人の往来が活発になってきたことにより、海外に暮らす日本人も増加しています。

・在留先は、アメリカなどの先進国が多いですが、最近では中国をはじめ、タイやマレーシアなどの東アジアや東南アジア地域の新興国や発展途上国の滞在者も増えています。





### 国際協力機構

#### 青年海外協力隊

発展途上国の国づくりに協力するために、技術や技能をもった青年を派遣し、現地の住民とともに生活しながら技術を指導し、経済・社会開発、産業の生産性向上に協力する制度。  
 主体はひとりひとりの隊員であり、ボランティア性、公募性に特徴がある。派遣分野は多岐にわたるが、農林・水産・教育文化部門が比較的多い。



みなさんが将来働く場所は日本だけでなく海外にも広がっている。



### 私の夢

青年海外協力隊として発展途上国の教育に携わること



第3時間目 【資料1】ワークシート

**こんな私になりたい(将来の夢)**

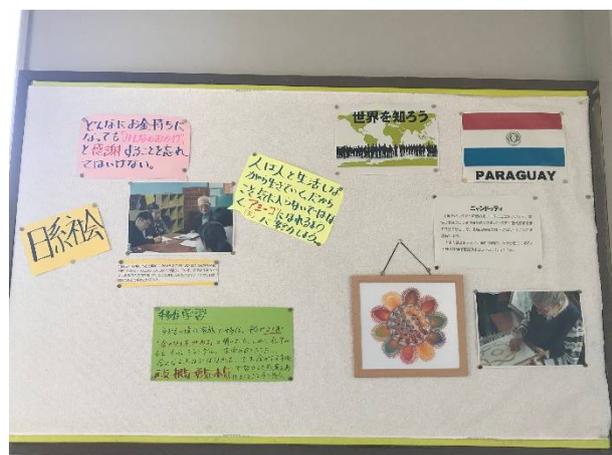
( )番 氏名( )

自分の人生について、夢を持つことの大切さやその夢を実現するためにはどうしていかなければならないか。みんなの意見を聞きながら考えていきましょう。

1. 将来の夢は？(やってみたい仕事, やってみたい活動など)
2. その仕事や活動, 趣味を通して, 自分のどんな夢を実現していきたいか。
3. 今ががんばっていることやがんばろうと思うことは何か。(将来に向けて)
4. グループの人からのアドバイス
5. 10年後のわたしについて思い描いてみよう。

(その他)

校舎掲示版





他学年の生徒にもパラグアイについて知ってもらうために、校舎の掲示板を使ってカテウラ音楽団や食文化、スペイン語、ニャンドゥーティー、日系社会について紹介し

参考資料：

「国際理解教育 実践資料集 ～世界を知ろう！考えよう！～」 p6, 7 独立法人 国際協力機構（JICA）地球ひろば

13歳のハローワーク公式サイト 人気の職業 <https://www.13hw.com/home/index.html>

海外在留邦人人数調査統計 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000260884.pdf>